

令和5年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（施設勘定）の概要

1. 予算規模

令和5年度当初予算額	80,000千円
令和4年度当初予算額	82,000千円
比 較	△2,000千円（2.4%減）

歳入は、引き続きコロナ禍は継続すると見込み、予約診療による人数制限やマスク・手洗い習慣等の感染症対策によるコロナ以外の感染症患者などの受診者の減少、更に地域の人口減少も加わり、診療収入は減少しており、不足する財源は、財政調整基金繰入金を充てて予算編成した。

歳出は、地域医療機関として、コロナ禍でも安心、安定した医療を提供するため、人件費や施設の整備費などを見込んだ。

なお、令和5年度の患者数は4,914人、一人当たりの診療収入を10,455円と見込んだ。

2. 歳 入

- (1) 診療収入は、51,376千円で、対前年度△3,474千円、6.3%の減を見込んだ。
内訳は、外来収入46,811千円、その他の診療収入4,565千円を計上した。
- (2) 繰入金は、25,400千円で、対前年度2,000千円、8.5%の増を見込んだ。
内訳は、一般会計繰入金7,100千円、事業勘定繰入金300千円、財政調整基金繰入金18,000千円を計上した。
- (3) 繰越金は、2,942千円を見込んだ。
- (4) その他の収入は、合計282千円で、主なものは、使用料及び手数料38千円、諸収入233千円などを見込んだ。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、47,638千円で、対前年度345千円、0.7%の増を見込んだ。
内訳は、診療所関係職員給与費32,420千円、診療所総務事務費12,961千円、診療所施設管理費2,130千円、研究研修費127千円を計上した。
- (2) 医業費は、30,350千円で、対前年度△2,345千円、7.2%の減を見込んだ。
内訳は、医療用機械器具費1,991千円、医療用消耗器材費759千円、医薬品衛生材料費27,600千円を計上した。
- (3) その他の支出は、合計2,012千円で、主なものは、基金積立金10千円、予備費2,000千円などを見込んだ。

令和5年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(施設勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 診療収入	51,376	64.2 %	54,850	66.9 %	△ 3,474	△ 6.3 %
2 使用料及び手数料	38	0.0 %	60	0.1 %	△ 22	△ 36.7 %
3 財産収入	11	0.0 %	11	0.0 %	0	0.0 %
4 繰入金	25,400	31.8 %	23,400	28.5 %	2,000	8.5 %
5 繰越金	2,942	3.7 %	3,475	4.2 %	△ 533	△ 15.3 %
6 諸収入	233	0.3 %	204	0.3 %	29	14.2 %
合 計	80,000	100.0 %	82,000	100.0 %	△ 2,000	△ 2.4 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	47,638	59.6 %	47,293	57.7 %	345	0.7 %
2 医療費	30,350	37.9 %	32,695	39.9 %	△ 2,345	△ 7.2 %
3 基金積立金	10	0.0 %	10	0.0 %	0	0.0 %
4 公債費	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
5 諸支出金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
6 予備費	2,000	2.5 %	2,000	2.4 %	0	0.0 %
合 計	80,000	100.0 %	82,000	100.0 %	△ 2,000	△ 2.4 %